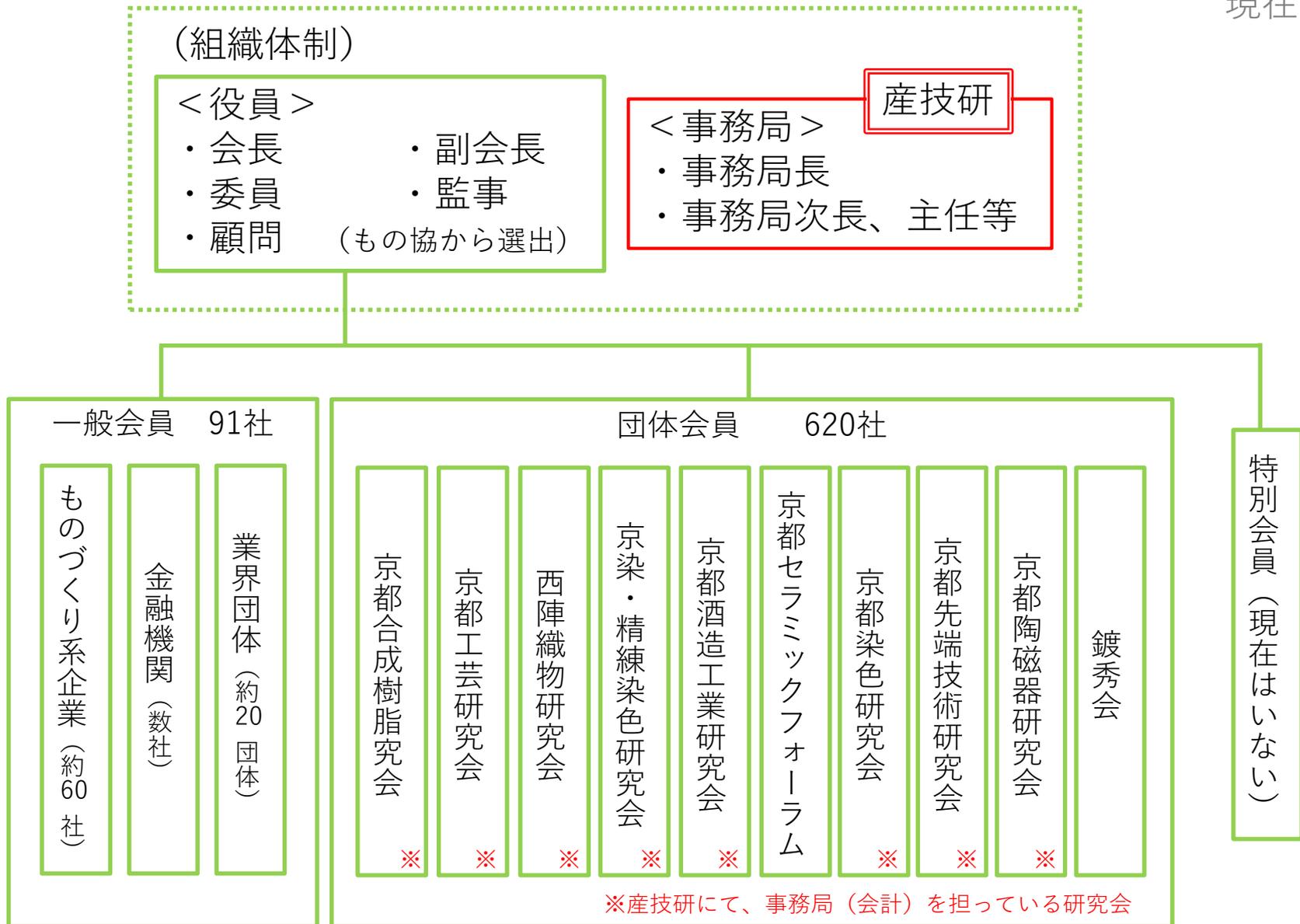


京都ものづくり協力会 組織図

現在の体制



## 京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ（仮称）構成図（案）

＜アドバイザーボード＞ 会員を代表して、UC活動に対する助言やアドバイスを行う。  
（アドバイザーは現もの協役員、またはそれに準じる方を想定）

産技研がユーザーズコミュニティの運営主体となります。



＜企画委員会＞ 事業企画・運営協力を行う。  
企画委員：一般会員、団体会員、その他の会員及び産技研職員

## 補足

- ・産技研だけが主体ではなく会員様も一緒になってコミュニティ形成をしていきたいと考えています。
- ・企画委員会にて企画・運営を行いますが、会員様からも委員としてご参加いただきたいと思っています。
- ・その他会員の部分が、UCの活動を応援していただくために、連携の幅を広げていく部分、将来的にはバイヤー等の販路開拓に繋がる分野に広げていきたいと考えています。
- ・UC活動に対してのご要望などは、随時承っております。お気軽に職員にお声がけください。

- ・R5年度ものづくり協力会として活動する。
- ・UCの設立は、R5年度中を予定。
- ・UC準備委員会を立ち上げ、具体的な事業企画を行う。  
（R5.9月メンバー調整、10月頃から検討開始）

	23/7	8	9	10	11	12	24/1	2	3
ものづくり協力会 スケジュール	● 委員会	● 総会、記念講演会					● 新春講演会		● 臨時総会
もの協からUCへの移行について ・趣旨や会費などのご意見伺い、ご説明	→								
UC準備委員会立ち上げ及び R6年度の企画検討 ※もの協会員の皆様の中からも お願いしたいと考えております。			→					● 事業取りまとめ	
UC規約、組織案などの検討 （細部の検討）		→							
決定したUCの概要について 各委員長等にご説明						→			
UC参加への勧誘						→			

■ : ものづくり協力会

■ : 産技研

## ※準備委員会について（R5.9月～R6.2月）

### ○委員長

現 京都ものづくり協力会事務局長

### ○委員

一般会員、団体会員（各研究会）、産技研職員から構成されます。

京都ものづくり協力会もしくは事務局より、推薦もしくは指名を想定しています。

（可能な限り、全ての研究会の会員（特に次代を担う経営者、若手技術者）からご出席いただくことを要請します。）

### ○委員会人数

約20名

会員相互連携のためのご意見・アイデアなどを伺い、ユーザーズコミュニティの事業を計画する場と致します。